

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立堀江小学校協議会

1 総括についての評価

- ・中期目標に関する学校の評価は妥当である。
- ・保幼小中の連携という点で連携をとりながら、長い12～13年のスパンで子どもたちの成長を見守っていききたい。
- ・教職員の働き方改革を進めるためにも、行政・保護者・地域等で学校に協力していく体制づくりを推進していききたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
△82.5% 肯定的回答 95.9%
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
△増
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
○改善あり
- ・年度末の本校アンケート調査で「災害安全」「交通安全」「生活安全」に関わる項目について、「思う(だいたい思う)」と回答する児童の割合を90%以上にする。
○「災害安全」97% 「交通安全」96% 「生活安全」96%

学校の評価は妥当である。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して肯定的な回答をしていない4.1%の児童に対してのアプローチも大切にしていきたい。「いじめられている」という数が学年が上がるにつれて低くなっている。いじめ問題に対して教職員が同じ方向を向き、学校・学年全体みんなで行っているため、子どもも「いじめ」について正しく認識するようになってきている表れだと思う。

年度目標：

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。△46.0% 肯定的 81.4%
- ・小学校学力経年調査における国語科および算数科の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度を維持か向上させる。○
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。○82.6%
- ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。○76.7%
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以

上にする。○71.0%

学校の評価は妥当である。

○運動能力の低いところは毎年話題としてあがっている。学校では生涯体育の視点から「運動の楽しさ」や「体を動かす心地よさ」を子どもたちが感じ取れるような指導を行っている。

年度目標：

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕△
学習用端末利活用率 11.5% (12月のみ 80.2%)
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を60%以上にする。○70.77% (1月時点)

学校の評価は妥当である

○教員の時間外勤務については、個人情報取扱等であっても一概に短縮できないものもある。また東西に分かれている本校の特色として打ち合わせに時間を要する場面が多い。

3 今後の学校園の運営についての意見

・子どもや保護者を取り巻く社会が SNS 等でのやり取りが一般化し、文字でのやり取りが多くなっている。大人も子どもも、顔を見合わせて相手の話を聞くといったコミュニケーションが減ってきているように思うので、学校教育の場で顔を見ての交流、相手の話を聞く、といった活動を今後も引き続き取り入れてほしい。